

故香村博士遺族慰問資金募集趣意書

故工學博士香村小録君は明治二十六年本邦製鐵事業の搖籃時代より前後四十有餘年に亘り一意専心同事業の進歩發達に盡瘁せられ其功績の顯著なる事は已に本會誌第三號卷頭に掲載の通りにして茲に再説を要せざる處に候 殊に博士は本會創立者の一人にして理事として將又會長として常に本會の發展に貢獻せられたるのみならず去る昭和七年四月多額の金員を本會に寄贈せられ之に依って鐵鋼の理論又は作業上の發見發明又は新案を得たる者を表彰するの途を開き以て後進者の誘掖と研究の獎勵に偉大の功果を擧げつゝあるは周知の通りに有之候

然るに一昨年十一月不幸二豎の冒す所となり病床にあること年餘本年三月四日終に長逝せられたるは誠に痛恨に堪えざる次第に有之茲に有志相謀り次記の方法により博士生前の知遇に對し感謝の意を表すると共に聊か御遺族を慰問致度候間何卒奮て御賛成あらん事を切望に不堪候

昭和十三年五月

發起人一同

資金募集要項

1. 出資金額 金 貳 圓
2. 出資受付締切期限 昭和 13 年 9 月末日迄
3. 慰問方法 油繪肖像額一面を作成して遺族に贈呈し尙ほ殘金ある時は適當の方法を講ずる事
4. 第三項の取扱に就ては實行委員の協議に一任の事
5. 出資受付個所 東京市麴町區丸ノ内二丁目十番地仲十四號館一號

日本鐵鋼協會 振替東京 193 番
電話丸ノ内(23) 3626 番

(便宜鐵と鋼第四號へ貼付の振替用紙御利用被下度候)